

<b>【科目名】</b> 日本語表現法		<b>【担当教員】</b> 上松 恵理子 (メールアドレス) eriko.uematsu@u.musa.ac.jp (オフィスアワー) 授業開講日、非常勤講師室で対応
<b>【授業区分】</b> 教養分野 (人文科学)	<b>【授業コード】</b> 1-01-0030-0-2	
<b>【開講時期】</b> 1・2 年次 前期	<b>【選択必修】</b> 選択	
<b>【単位数】</b> 1 単位	<b>【コマ数】</b> 8 コマ	
<b>【注意事項】</b> (受講者に関わる情報・履修条件) 正しい日本語を話したい、書きたいと思っている人なら誰でも習得可能  (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし		
<b>【講義概要】</b> (目的) レポートや報告書、論文等を書く際に必要な、基本的な日本語に関する文法や表現法を学ぶ。文脈の整合性や、正しい敬語の使い方、口語体や文語体の違い、正しい助詞や助動詞の使い方、正しい単語や漢字の使い方等を学習する。 (方法) 基本的な日本語のルールや使い方を学習し、単文やレポート、学術論文等を題材にして、より正しい日本語を学習する。		
<b>【一般教育目標 (GIO)】</b> ・日本語の表現を理解する。 ・レポートの書き方を学習する。  <b>【行動目標 (SBO)】</b> ・日本語の使い方を理解することができる。 ・目的に応じた文章を書くことができる。		
<b>【教科書・リザーブドブック】</b> 三省堂『大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編』 橋本修/阿部朋世/福嶋健伸 1900 円＋税 (2011 年 第 5 刷) 注 「スキルアップ編」を使いますので間違えないで購入すること		
<b>【参考書】</b> 講義内で適宜資料を配布		
<b>【評価に関わる情報】</b> (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う、		

平成 26-28 年度以降入学者用

出席、授業態度、レポート、試験を総合的に判断、評価する。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		80		20					100点
評価指標	取り込む力・知識	30		20					50
	思考・推論・創造の力	40							40
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢	10							10
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法		学修課題(予習・復習)		時間(分)			
1	大学の授業におけるレポートの基本	講義と実践		講義内で適宜指示		40			
2	敬語の基礎と使い方 メモとノートテイク	講義と実践		講義内で適宜指示 授業外の学習も適宜指示		40			
3	メールと手紙の書き方 説明	講義と実践		講義内で適宜指示		40			
4	資料の読み取りと調べ方 アンケートの取り方	講義と実践		講義内で適宜指示 授業外の学習も適宜指示		40			
5	レポートの書き方1 研究計画の立て方	講義と実践		講義内で適宜指示		40			
6	レポートの書き方2	講義と実践		講義内で適宜指示 授業外の学習も適宜指示		40			
7	小論文の書き方	講義と実践		講義内で適宜指示		40			
8	説明表現とコツ レポートの書き方3	講義と実践		講義内で適宜指示		40			

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。